

2024年6月27日

会社名 株式会社 オプティム
代表者名 代表取締役社長 菅谷 俊二
(コード番号: 3694 東証プライム市場)
問合せ先 管理担当取締役 林 昭宏
(TEL. 03-6435-8570)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月24日に、プライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。

2024年3月時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況及び計画期間

当社の2024年3月時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況ですが、流通株式比率については、29.6%となっており35%という上場維持基準を充たしておりません。当社は、流通株式比率に関しては2025年3月期中に上場維持基準を充たすために、引き続き各種取組を進めてまいります。

		流通株式比率
	2023年3月末時点 (※)	28.4%
	2024年3月末時点 (※)	29.6%
上場維持基準		35.0%
計画期間		2025年3月末

※ 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価（2023年4月～2024年3月）

菅谷氏より、上場維持基準の適合にむけて、株式の一部売却を実施したとの報告を受けております。ただし、既存株主に可能な限り影響がでないように配慮しながら取引を行った結果、売却が想定よりも進捗していないとのことです。今後も、流通株式比率について、経過措置期間内での上場維持基準を達成するため売却を進めていきますが、既存株主への影響が多大になると考えられる場合には、必ずしも経過措置期間内での売却にこだわらず、1年の改善期間における売却についても考慮の上、取引を進めていきたいとのことです。

また、株式の流動性をさらに高め、投資家が売買しやすい環境を確保する取り組みとして決算資料について、自社サイトで英文での開示を実施しており機関投資家をはじめとする海外の投資家への積極的な情報提供を実践しております。具体的には、英語版での決算短信や四半期報告書、招集通知、有価証券報告書などについて、日本語版と同日に開示することを目指し、提供時期の短縮

に努めるなどの取組みをおこないました。

以上のように、投資家が売買をしやすい環境を確保しつつ、菅谷氏の持株比率を下げることにより、東京証券取引所が定める流通株式比率の上場維持基準を充たすべく取り組んでおります。

3. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

流通株式比率の適合基準達成のためには、流通株式比率を約 5.4%増加させる必要があります。

現状の株式市場における当社株式の売買出来高は、日々10万株前後で推移しておりますが、この株式の流動性をさらに高め、投資家が売買をしやすい環境を確保することが流通株式数の増加へ向けた課題であり、時価総額の増加につながると考えております。そこで、これまで以上に情報開示を充実させ、市場からの関心を高めつつ、決算資料や招集通知等の英文での開示を通じて、機関投資家をはじめとする海外の投資家への積極的な情報提供を行うことにより、流動性を高めるとともに、株式価値の向上を図っていきたいと考えております。

具体的な流動性比率を高める取組みとしては、株主総会の招集通知について、英語での提供をすでに開始しており、また、議決権行使プラットフォームの採用も行っております。また、当社の主要株主でもある代表取締役菅谷が保有する株式の一部を既存株主や市場環境への影響等を総合的に考慮しながら、時間外取引等を含めた様々な手法を用いて、可能な限り現在の市場に与える影響を最小限にとどめつつ、段階的に売却を実施していく方針を菅谷氏と合意しており、売却を進めている旨報告をうけております。

以 上